

J A山武郡市作柄調査報告（3月号）

報告日:平成30年3月10日(毎月10日発行)
報告者:販売開発部 営農振興課 小柳

【H29年産 春ネギ】

【作柄調査(さんむ中央C管内)】



調査地区	鳴浜
調査日時	2018/3/8
天気	雨
品種	羽緑一本太
播種日	8月上旬
定植日	10/1
9月下旬以降に定植した圃場では生育が停滞している状況です。今後の天候次第で生育が進んでも、5月以降となり「出荷できるかわからない」とのことでした。	

【作柄調査(やさいの里管内)】



調査地区	蓮沼
調査日時	2018/3/8
天気	雨
品種	初夏扇
播種日	7月中旬
定植日	9/10
9月上旬定植圃場では今後止め土して4月中の収穫が間に合う見込み。品種によって抽苔には注意が必要。	

【作付状況及び出荷計画】

ケース=5kg

センター名	地区	栽培面積 (ha)	生産者数 (人)	出荷計画 (ケース)	2月末 出荷実績 (ケース)	計画対比 (%)	主な品種	出荷開始日
さんむ中央		122.0	243	860,000	449,034	52.2%	夏扇4号 夏の宝山 龍ひかり2号 春扇 初夏扇 羽緑 他	9月14日
やさいの里	第三	40.0	120	245,000	110,479	45.1%		9月25日
	豊岡	3.0	10	17,000	8,098	47.6%		11月12日
	大総	4.4	13	27,750	16,944	61.1%		11月8日
								12月9日
東金KC		1.7	11	10,500	3,875	36.9%		10月9日
大網KC		12.6	21	68,000	25,796	37.9%		9月24日
その他		0.8	4	4,650	4,438	95.4%		
合計 (前年比)		184.5 (106.5%)	422 (99.8%)	1,232,900	618,664 (92%)	50.0%		

《JA山武郡市管内の作柄状況》

3月上旬現在の出荷量は、さんむ中央Cで日量6,000ケース、やさいの里で日量1,200ケースの出荷となっています。全体の進捗率としては3月上旬現在で55%前後ですが、当初計画から台風被害を勘案すると、最終的に120万ケースは割り込む予想となっています。2月以降も大きな天候の崩れがなかったことや、価格が堅調に推移したことから収穫作業は順調に進んでいますが、収穫開始が遅れた方では、2週間から20日程度の遅れが続いている状況です。一方で低温・乾燥が続いていたことから春ネギの生育が停滞しており、「次の畑が仕上がっていない」との声も聞かれます。今後はトウモロコシや水稻の播種作業も重なることから、出荷量は現状維持か微減で推移していくものと思われます。また、3月上旬に行なった春ネギ抽苔調査では、多くの圃場で既に花芽の形成が確認されています。気温の上昇に伴い生育が早まると抽苔の発生も懸念されますので、収穫の合間を見て春ネギの管理と、病害虫対策について周知していきます。